

Kansai Economic Insight Monthly

2016/2/26

Vol.34 January/February

要旨

- ✓ 12月の鉱工業生産指数は2カ月連続の前月比減少。結果、10-12月期の生産指数は前期比横ばい。
- ✓ 1月の貿易収支は2カ月ぶりの赤字。輸入は5カ月連続の同マイナスも、前年からの円安による輸出額増加の効果がほぼ剥落したことや、アジア向け輸出の落ち込みもあり、輸出は4カ月連続の前年比マイナス。
- ✓ 1月の消費者態度指数は小幅改善した一方、景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は2カ月ぶりの悪化。先行き見通しも春節を控えインバウンド消費への期待はあるものの、中国経済の減速や株安を不安視する声が多く、3カ月連続の悪化。
- ✓ 10月の関西2府4県の現金給与総額は4カ月ぶりの低下。11月の「関西コア」賃金指数も2カ月連続で低下。賃金の伸びは今後低下する可能性も出てきた。
- ✓ 12月の大型小売店販売額は2カ月ぶりの前年比小幅プラス。
- ✓ 12月の新設住宅着工戸数は2カ月連続の前年比マイナス。1月関西のマンション契約率は5カ月ぶりに70%台を回復。
- ✓ 12月の有効求人倍率は2カ月連続の改善。一方、完全失業率は前月から小幅悪化したが、労働力人口の増加によるもので、再び職探しが行われるようになったとみられる。
- ✓ 1月の公共工事請負金額は2カ月ぶりの前年比マイナス。12月の建設工事は4カ月連続の同マイナス。公共工事の減速もあり、建設工事は引き続き停滞している。
- ✓ 1月関西の訪日外客数は48万2,220人と36カ月連続のプラス。
- ✓ 中国1月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は前月から下落し、6カ月連続で50を下回った。2012年8月以来の低水準。非製造業購買担当者景況指数も3カ月ぶりの下落。

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ 本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・ レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、林万平・木下祐輔・James Brady(各APIR 研究員)です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	11
Release Calendar	12

【関西経済のトレンド】

	2015年												2016年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
生産	↗	↘	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↘	↘	
貿易	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘
センチメント	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘
消費	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↘	↘	
住宅	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↘	↘	↗	↘	↘	
雇用	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↗	
公共工事	↘	↘	↘	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
中国	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

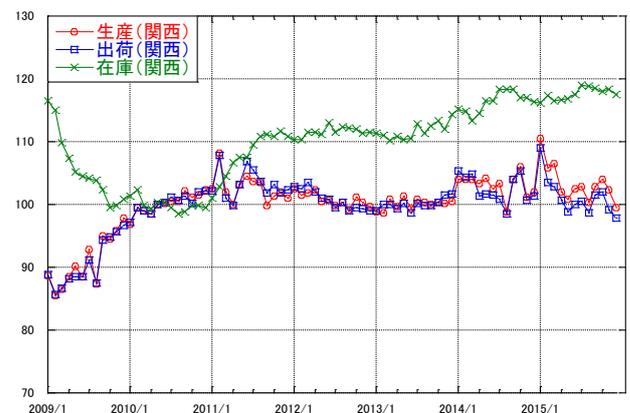
12月の鉱工業指数(速報値:季節調整済)を見ると、生産は99.5で前月比-2.7%、出荷は97.9で同-1.3%といずれも2カ月連続の減少。一方、在庫は117.6で同-0.6%と2カ月ぶりの下落となった。

業種別に生産指数をみると、電子部品・デバイス(同-14.2%, 2カ月ぶり)、はん用・生産用・業務用機械(同-6.0%, 2カ月連続)、電気機械(同-5.1%, 2カ月ぶり)等が減産となった。一方、金属製品(同+10.6%, 3カ月ぶり)、その他(同+3.6%, 3カ月ぶり)、化学(除. 医薬品)(同+0.8%, 3カ月ぶり)等が増産となった。

結果、10-12月期関西の生産指数は7-9月期に比して0.0%と伸びは横ばい。12月の生産指数が大きく落ち込んだ

ことが響いた。なお、7-9月期は同+0.1%にとどまっており、15年度前半の生産は停滞している。

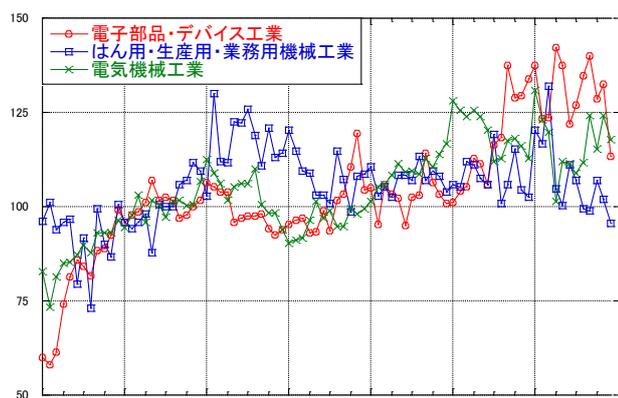
鉱工業指数の推移(関西: 2015年12月まで、平成22年=100)



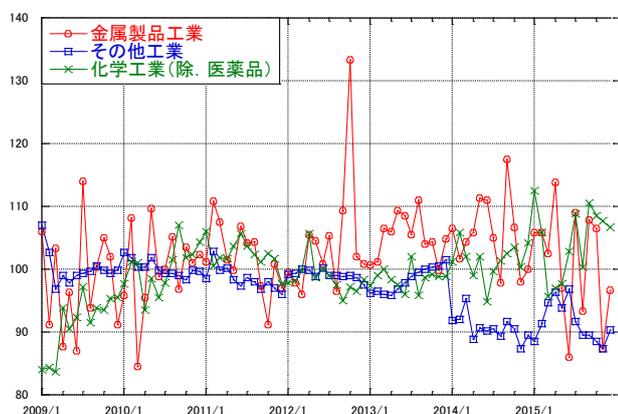
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2015年12月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

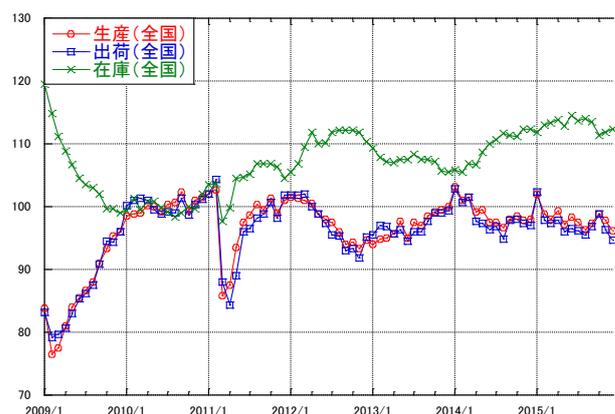
(2) 全国の生産動向

全国における12月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は96.2となり前月比-1.7%、出荷は94.7で同-1.8%といずれも2カ月連続の下落。一方、在庫は112.3で同+0.4%と2カ月連続の上昇となった。

業種別にみると、輸送機械(同-2.0%)、はん用・生産用・業務用機械(同-2.7%)、電子部品・デバイス(同-3.9%)等を中心に減産となった。一方、窯業・土石製品(同+1.8%)、情報通信機械(同+1.7%)、化学(同+0.3%)等は増産となった。

速報の製造工業生産予測調査によれば、1月は同+7.6%の増産、2月は-4.1%の減産となっている。

鉱工業指数の推移(全国：2015年12月まで、平成22年=100)



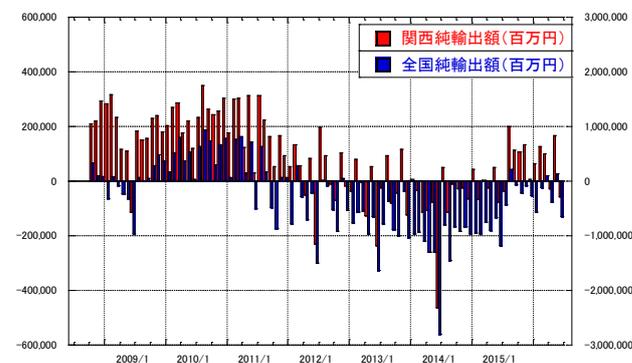
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、1月関西の貿易収支は-570億円と2カ月ぶりの赤字となり、赤字幅は前年同月比-25.0%縮小した。全国の貿易収支(速報値)も-6,459億円と2カ月ぶりの赤字となったが、赤字幅は前年同月比-45.0%縮小。

貿易収支(百万円)：関西(左軸)・全国(右軸)推移(2016年1月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

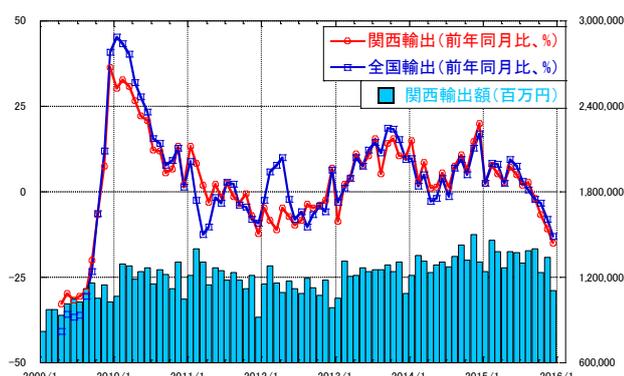
(2) 輸出

関西1月の輸出額(速報値)は1兆1,098億円。前年同月比-14.9%と大幅に減少し、4カ月連続の減少。前月(同-10.8%)より伸びは悪化した。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器の輸出が減少した。

全国1月の輸出額(速報値)は5兆3,516億円、前年同月比-12.9%と4カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、有機化合物、鉱物性燃料の輸出が減少。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は119.57円と前年同月比-0.3%の円安と、円安による輸出額増加の効果はほぼ剥落した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2016年1月まで)

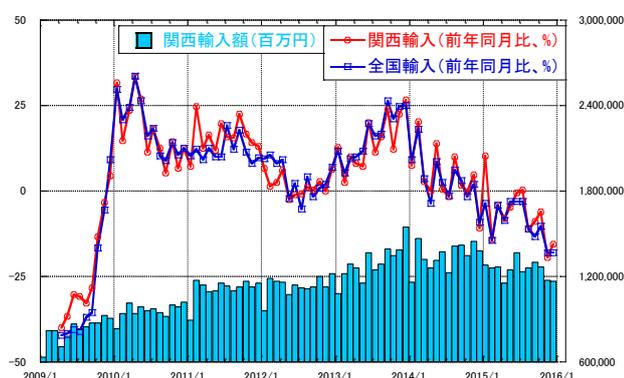


(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西1月の輸入額(速報値)は1兆1,668億円、伸びは前年同月比-15.5%と5カ月連続の減少。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油が減少した。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2016年1月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

全国1月の輸入額(速報値)は5兆9,976億円、前年同月比-18.0%と13カ月連続の減少。財別に見れば、液化天然ガス、原油、石油製品等の輸入が減少している。

資源価格は引き続き大幅低下傾向にあり、結果、輸入額は関西、全国ともマイナスが続いている。

(4) 関西の地域別貿易

関西1月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は-10億円と24カ月ぶりの赤字。前年同月から454億円悪化した。輸出は3カ月連続の減少(同-15.4%)。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器等が減少した。輸入は5カ月連続の減少(同-10.6%)。財別に見ると、天然ガス及び製造ガス、衣類及び同付属品等が減少した。輸出の減少により貿易赤字に転じた。

うち、対中貿易収支は-1,859億円と47カ月連続の赤字も、赤字幅は5カ月ぶりに前年同月から拡大(同+17.7%)。輸出は4カ月連続で減少(同-15.6%)。輸入は5カ月連続の減少(同-4.2%)となった。

対米貿易収支は+670億円と黒字基調が続いているが、黒字幅は4カ月連続で前年から縮小(同-21.5%)。うち、輸出は3カ月連続のマイナス(同-9.5%)。財別に見れば、鉄鋼、医薬品等が減少した。輸入は2カ月ぶりの増加(同+2.3%)。財別に見れば、医薬品、肉類及び同調整品等が増加した。

対EU貿易収支は+2億円と2カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年同月から-98.8%縮小した。輸出は4カ月連続の減少(同-6.0%)。財別に見れば、船舶、科学光学機器等が減少した。輸入は2カ月ぶりの増加(同+5.7%)。財別に見れば、医薬品、肉類及び同調整品等が減少した。

【消費者センチメント】

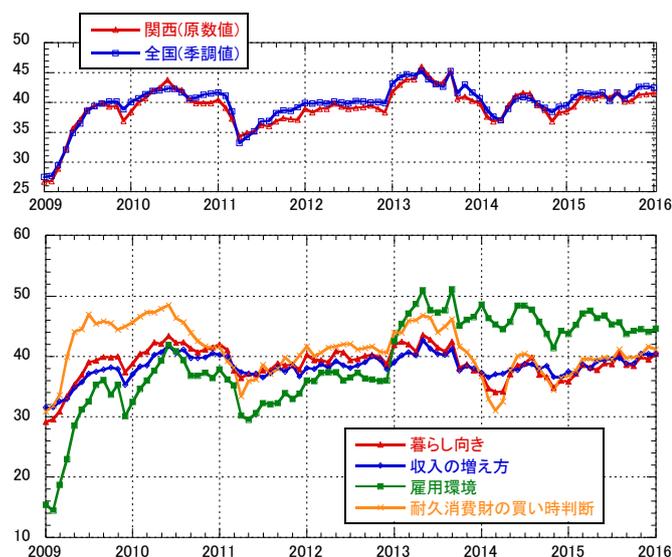
(1) 消費者態度指数の動向

関西の1月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.2ポイントの41.6と小幅改善。4カ月連続のプラス。一方、全国(季節調整値)では同-0.2ポイントの42.5と4カ月ぶりのマイ

ナス。中国経済の減速や原油安を受けた株価下落、円高などを
受け、景気の先行き不透明感が悪化に寄与したとみられる。
内閣府は消費者心理の基調判断を、前月の「持ち直しの動き
が見られる」から、「持ち直しのテンポが緩やかになっている
」と下方修正を行った。

関西で同指数の構成項目をみると、「暮らし向き」が同+0.9
ポイント改善(2カ月ぶり)、「雇用環境」が同+0.5ポイント
改善(2カ月ぶり)した。一方、「収入の増え方」は2カ月連
続で同横ばい、「耐久消費財の買い時判断」は同-0.5ポイン
ト悪化(4カ月ぶり)した。消費者心理の改善は緩やかなもの
にとどまっている。

消費者態度指数(2016年1月まで)



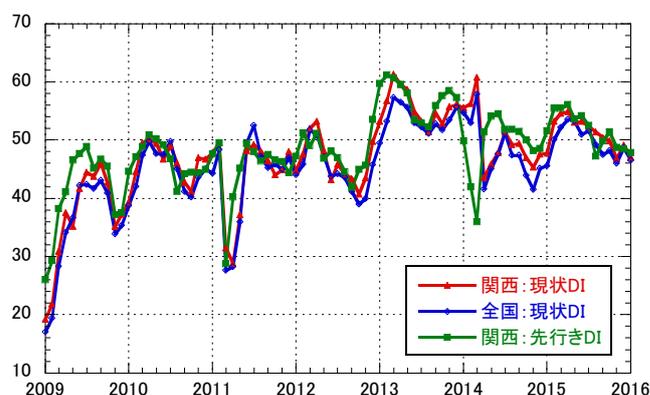
(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の1月の現状判断DIは前月比-2.1ポイント低下し
47.1となり、2カ月ぶりの悪化。景況感の良し悪しの分かれ
目となる50を4カ月連続で下回った。年始の初売りが堅調
であったものの、暖冬が続いていること、株価の下落や中国
経済の減速などが心理面に悪影響をもたらした。全国も同
-2.1ポイント低下し46.6となり、2カ月ぶりの悪化。判断
の分かれ目となる50を6カ月連続で下回っている。

また、先行き判断DIは、関西では47.9と前月比-0.6ポ
イント低下し、3カ月連続の悪化。春節を控え、インバウン
ド消費への期待はあるものの、中国経済の減速や株安を不安
視する声が多く、先行き見通しを押し下げた。

景気ウォッチャー調査(2016年1月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

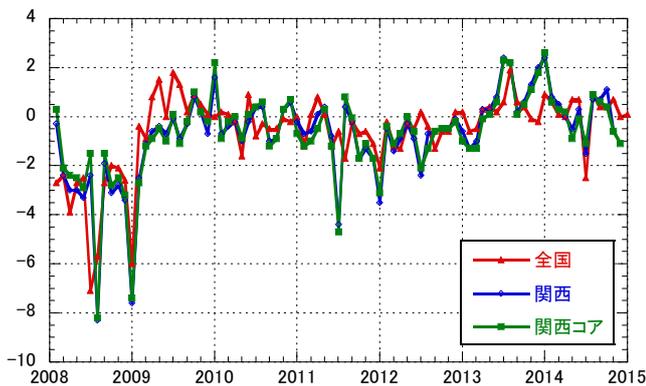
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

10月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は26
万3,393円で前年同月比-0.6%となり、4カ月ぶりに低下
した。府県別では、滋賀県が同+0.6%(3カ月連続)、兵庫
県が同+0.4%(5カ月連続)のプラス。一方、京都府が同
-0.2%(2カ月連続)、奈良県が同-0.4%(3カ月ぶり)、大阪
府が同-1.2%(3カ月ぶり)、和歌山県が同-2.5%(2カ月連
続)のマイナスとなった。

また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のあ
る「関西コア」賃金指数(APIR推計)は11月に前年同月比
-1.1%となり、2カ月連続の低下。前月よりも低下幅が大
きくなっており、賃金の伸びは今後低下する可能性も出て
きた。

現金給与総額(前年同月比：％、2015年12月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

全国(速報値)の現金給与総額をみると、12月は前年同月比+0.1%と小幅上昇。内訳をみると、所定内給与は同+0.7%と上昇(10カ月連続のプラス)、所定外給与は同+0.8%と6カ月連続の上昇。一方、特別給与は同-0.4%と2カ月連続のマイナス。特別給与の減少により、給与総額は小幅の増加にとどまった。現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同-0.1%と、2カ月連続のマイナス。

また、2015年通年でみると、現金給与総額は2年連続の増加となったが、+0.1%の小幅上昇にとどまった。一方、実質賃金は-0.9%と4年連続で低下した。

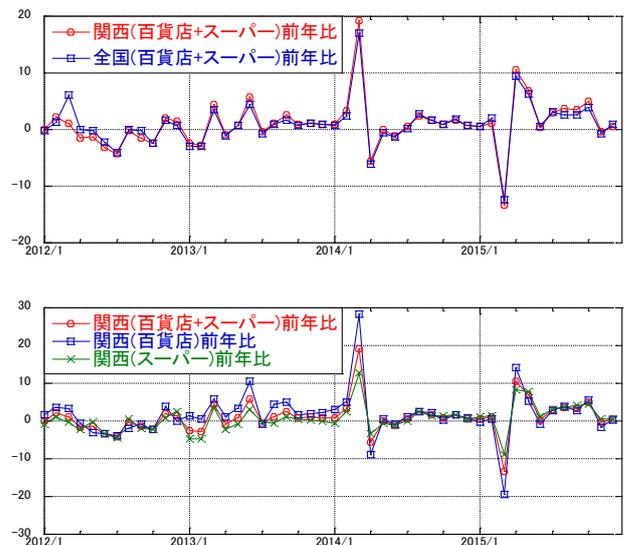
(2) 大型小売店販売額

関西12月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+0.6%。百貨店は同+0.2%増加し、いずれも2カ月ぶりのプラス。スーパーは同+0.6%と9カ月連続のプラス。

全国12月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+0.9%と2カ月ぶりのプラスとなっている。

足下、関西、全国共に消費は小幅の増加であった。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2015年12月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

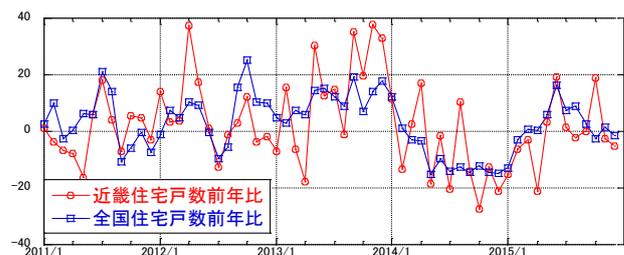
(3) 新設住宅着工の動向

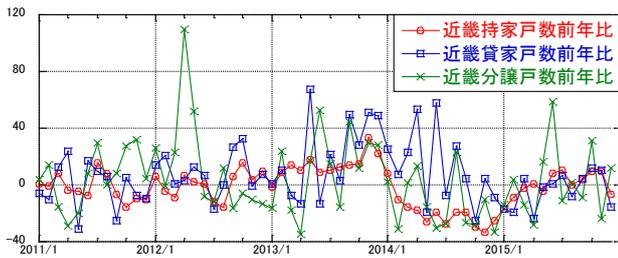
関西12月の新設住宅着工戸数は11,024戸。前年同月比-5.2%と、2カ月連続のマイナス。全国は75,452戸と同-1.3%減少し、2カ月ぶりのマイナス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,890戸。同-6.6%と7カ月ぶりの減少。貸家は4,141戸、同-15.3%と4カ月ぶりの大幅マイナス。分譲は3,929戸、同+12.3%大幅増加し、2カ月ぶりのプラス。

1月の関西マンション契約率は73.4%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を5カ月ぶりに上回り、前月(62.6%)から大きく上昇した。首都圏は60.9%(季節調整値、APIR推計)と、前月(67.3%)からさらに下落した。なお、季節調整値は2016年1月より更新した。

新設住宅着工(前年同月比：％、2015年12月まで)





(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

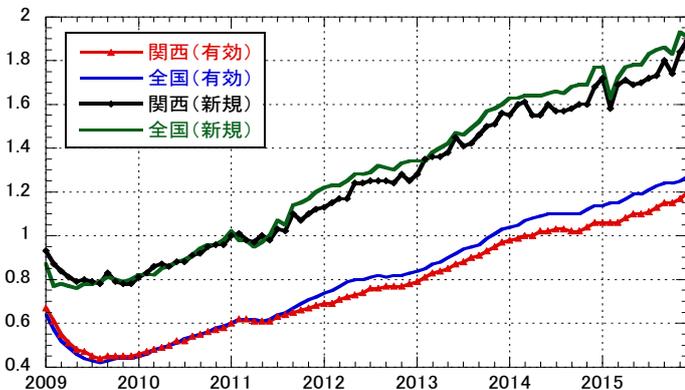
12月の関西の有効求人倍率は、1.20倍で前月比+0.03ポイント上昇し、2カ月連続の改善。1991年6月(1.22倍)以来、24年ぶりに1.20倍を超えた。2015年の平均は1.11倍と昨年(1.01倍)から0.1ポイント上昇。12月の全国は1.27倍で同+0.02ポイント小幅上昇。雇用情勢は堅調が続いている。

府県別では、全ての府県で上昇。奈良県で前月比+0.07ポイント、京都府で同+0.05ポイント、大阪府で同+0.03ポイント、滋賀県で同+0.02ポイント、兵庫県・和歌山県で同+0.01ポイント上昇した。

12月の関西の新規求人倍率は、1.89倍と前月比+0.05ポイント上昇。全国は1.91倍と同-0.2ポイント低下した。

大阪の産業別新規求人数は、前年比+6.9%で3カ月連続の上昇。運輸業、建設業、卸売・小売、医療・福祉、情報通信、学術研究等で増加がみられる。

有効求人倍率の推移(季節調整値、2015年12月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2015年12月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
12月	1.27	1.20	1.09	1.29	1.29	1.06	1.10	1.10
11月	1.25	1.17	1.07	1.24	1.26	1.05	1.03	1.09

(2) 完全失業率の推移

12月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は3.6%で前月比+0.1%ポイント小幅悪化。労働力人口が3カ月ぶりに増加していることから、再び職探しが行われるようになったとみられる。2015年の平均は3.9%と昨年(4.1%)から-0.2%ポイント改善した。

関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は36.7万人で前月から+0.8万人増加。2カ月連続の小幅悪化。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.3%と前月から横ばい。2015年平均は3.4%と1997年以来の低水準となった。

12月の全国の完全失業者数(季節調整値)は222万人と前月比+5万人増加。労働力人口が増加(非労働力人口が減少)していることから、求職者が労働市場に出てきているとみられる。

15~64歳の就業率(原数値, 全国ベース)は73.7%と、前月比+0.1%ポイント上昇し、高水準が続いている。

完全失業率の推移(季節調整値: %, 万人、2015年12月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

【公共投資】

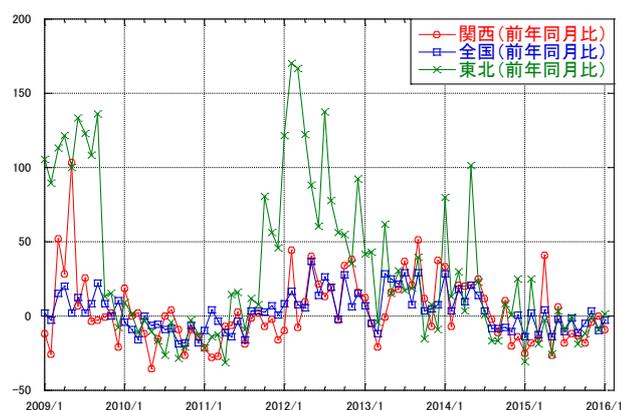
(1) 公共工事請負金額

関西1月の公共工事請負金額は644億円で前年同月比-8.8%と2カ月ぶりの減少となった。全国は6,535億円で

同-2.6%と2カ月連続の減少。東北は1,282億円で同+1.4%と7カ月ぶりのプラスとなった。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は2カ月ぶりに前月から大幅減少、全国は2カ月ぶりの増加となった(関西:同-15.4%、全国:同+3.7%)。なお、季節調整値は2016年1月より更新となった。

公共工事請負金額(前年同月比: %、2016年1月まで)



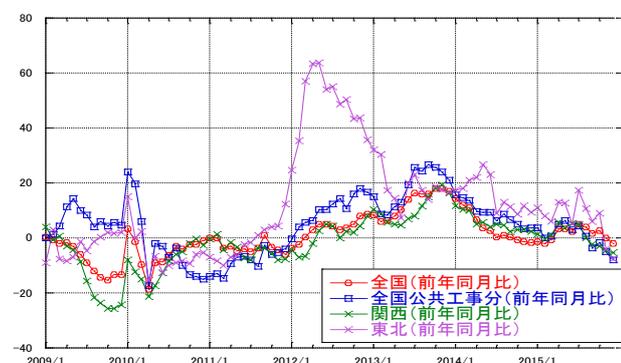
(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西12月の建設工事は5,781億円、前年同月比-5.2%と4カ月連続で減少した。東北は6,258億円、同-7.5%と2カ月連続の減少。全国は4兆7,325億円となり、同-2.1%と2カ月連続の減少。うち、全国の公共工事は2兆1,604億円で同-7.8%と4カ月連続のマイナスとなった。

全国、関西、東北の建設工事はいずれも停滞している。

建設工事(前年同月比: %、2015年12月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

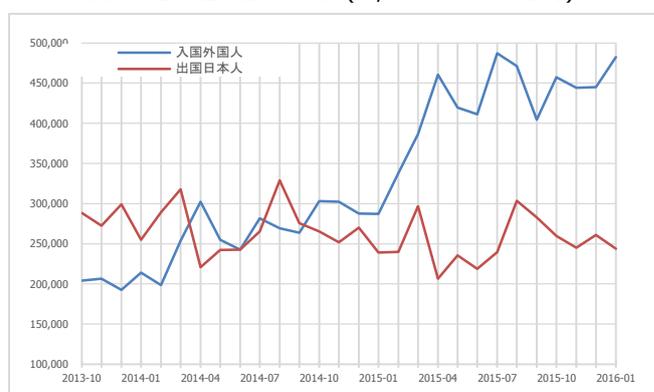
【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

1月の関空への訪日外客数は48万2,220人、前年同月比+68.0%と36カ月連続のプラスとなった。伸びは高水準だった前月(+54.7%)からさらに加速し、過去2番目に大きな数値となった。この傾向が持続するならば、春節を迎える2月には記録的な水準となる可能性がある。

出国日本人数は24万3,920人と同+2.0%と4カ月ぶり増加、外国人旅客総合数(出国・入国含め)は94万9,670人(同+69.5%)となった。

訪日外客数と出国日本人数(人、2016年1月まで)

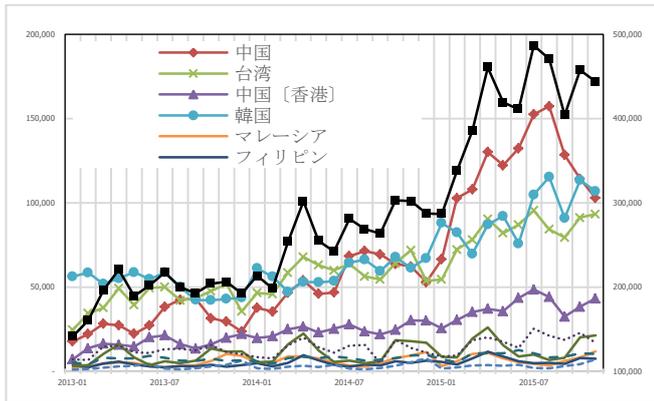


(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、11月には韓国からの入国者数が10ヶ月ぶり10万6,871人(前年同月比+74.3%)と最も多かった。次いで、中国(香港を除く)が10万2,813人(同+65.2%)、台湾が9万3,223人(同+29.7%)、中国(香港)が4万3,290人(同+42.7%)となった。他のアジア各国からの入国者数は、タイから2万1,328人(同+19.3%)。マレーシアからは1万1,863人(同+26.7%)、フィリピンからは7,472人(同+49.6%)、シンガポールからは7,238人(同+34.4%)となった。他地域を見ると、ヨーロッパからは1万7,022人(同+21.4%)と14カ月連続のプラスになった。米国からは1万283人(同+10.0%)と15カ月連続のプラスであった。

地域別訪日外客数(2015年11月:人、右軸:総数、左軸:各国)

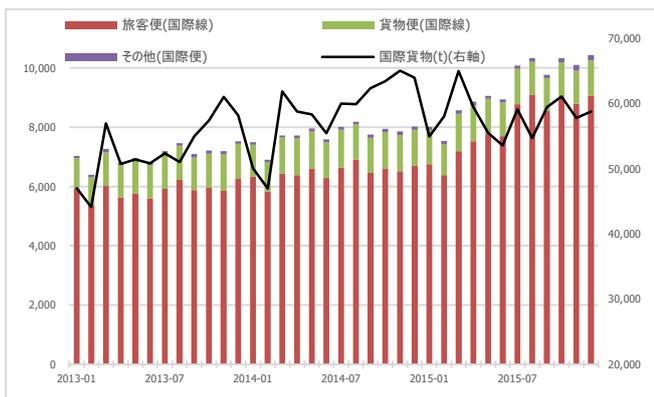


(出所) 法務省「出入国管理統計」

(3) 旅客・貨物便数トレンド

訪日外客数の大幅増加の背景には、国際線の便数増加がある。12月の総合便数(旅客・貨物合計)は1万435便で、前年同月比+30.0%と27ヶ月連続の増加。単月で見れば過去最高数を更新した。特に、国際線旅客便数は9,073便(同+35.3%)と大幅に増加した。27ヶ月連続の増加。国際貨物便は1,180便(同-2.8%)、9カ月連続の減少。その他は182便で(同+71.7%)であった。重量ベースで見ると、12月の国際線の貨物は5万8,786トン。同-8.1%と8ヶ月連続の減少となった。

国際便数(左軸)・貨物(右軸)(2015年12月まで)



(出所) 新関西国際空港株式会社「運営概況ニュースリリース」

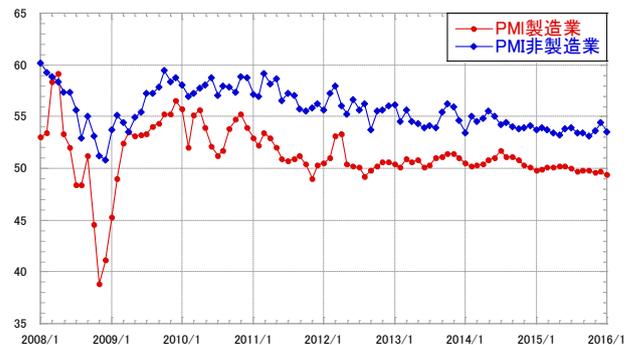
【中国景気モニター】

(1) センチメント

1月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は49.4となり、前月から-0.3ポイント下落。6カ月連続で50を下回っており、2012年8月(49.2)以来の低水準となった。また、非製造業購買担当者景況指数は53.5となり、50は上回ったものの、前月から-0.9ポイント低下し、3カ月ぶりの下落。

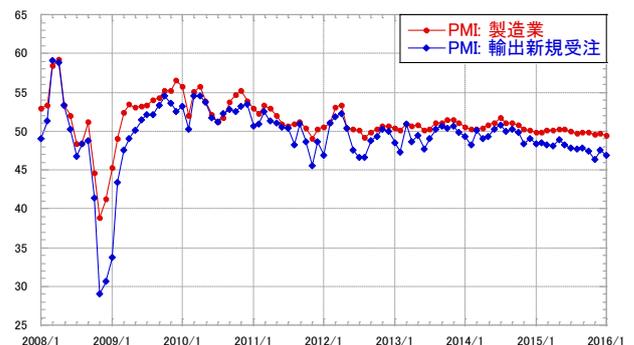
製造業のうち、生産指数は51.4となり、前月から-0.8ポイント下落。新規受注指数は49.5となり、同-0.7ポイント下落。また、輸出新規受注指数は46.9となり、同-0.6ポイント下落。いずれも2カ月ぶりの減少。一方、雇用指数は47.8となり、同+0.4ポイント上昇。4カ月ぶりの改善。

中国非製造業購買担当者景況指数(2016年1月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

中国製造業購買担当者景況指数(2016年1月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 貿易動向

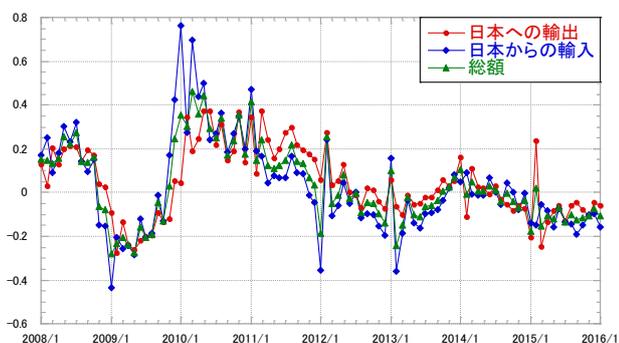
2016年1月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-11.5%と減少幅は前月(同-1.7%)から大幅に拡大、

7 カ月連続のマイナス。また、輸入額は同-18.8%(速報値)と前月(同-7.6%)から減少幅は拡大し、15 カ月連続のマイナス。結果、貿易収支は+633 億ドルとなり、23 カ月連続の黒字となった。

うち、日本への輸出額は同-6.0%と 11 カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同-16.0%と 15 カ月連続のマイナスとなった。

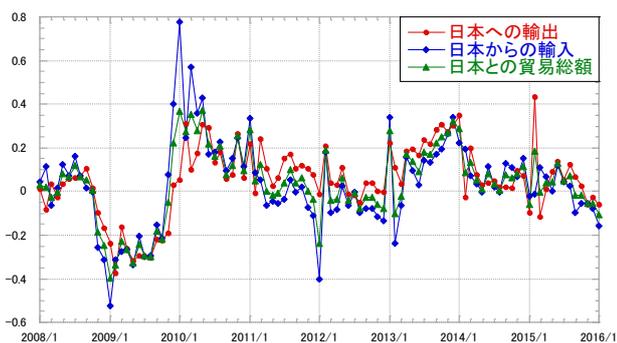
円ベースに換算すると、日本への輸出額は同-6.0%となり、3 カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同-16.0%、5 カ月連続のマイナスとなった。

日本との貿易 (前年同月比: ドル・ベース) (2016 年 1 月まで: %)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易 (前年同月比: 円ベース) (2016 年 1 月まで: %)

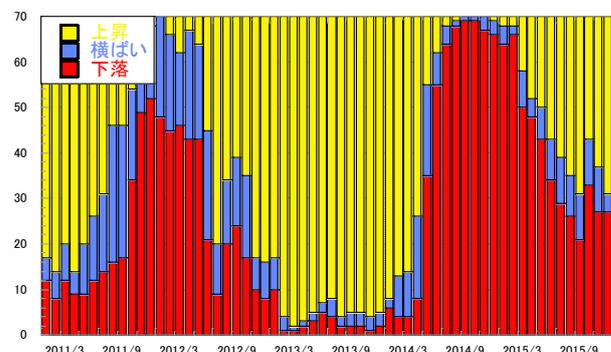


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 不動産市場

不動産価格 (新築住宅価格) を見ると、中国主要 70 都市のうち、2016 年 1 月は 24 都市で前月から下落した。38 都市で同上昇、8 都市で横ばいとなった。

新築住宅価格の主要都市集計 (2016 年 1 月まで: 都市数)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	15/1M	15/2M	15/3M	15/4M	15/5M	15/6M	15/7M	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	47.8	53.3	54.6	54.9	53.1	53.3	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	47.4	52.3	54.1	55.0	53.4	53.6	51.2	50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	51.6	55.5	55.5	56.1	53.7	54.2	52.6	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	43.9	48.4	50.9	53.2	53.6	50.4	50.8	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	50.0	53.2	53.4	54.2	54.5	53.5	51.9	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	38.5	39.3	41.0	40.8	40.7	41.2	40.8	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6
[関西]「暮らし向き(原数値)	35.8	37.1	38.5	38.2	37.7	38.9	38.7	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4
[関西]「収入の増え方(原数値)	37.5	37.2	38.7	38.0	39.2	39.4	39.6	39.7	38.9	38.8	40.4	40.4	40.4
[関西]「雇用環境(原数値)	43.7	45.2	47.1	47.5	46.3	46.8	45.3	45.6	43.7	44.2	44.5	44.1	44.6
[関西]「耐久消費財の買い時判断(原数値)	36.8	37.6	39.6	39.6	39.4	39.6	39.5	41.1	39.7	39.8	40.3	41.6	41.1
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	39.5	40.9	41.7	41.5	41.4	41.7	40.3	41.7	40.6	41.5	42.6	42.7	42.5
[関西]大型小売店販売額(10億円)	334.9	289.7	327.0	310.9	324.8	315.4	337.8	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	0.6	1.1	-13.4	10.6	6.9	0.4	3.0	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,721.5	1,498.6	1,715.0	1,608.0	1,692.8	1,641.2	1,705.7	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	0.6	2.0	-12.3	9.5	6.3	0.6	3.2	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	9,605	9,002	10,832	9,823	10,416	14,330	10,210	12,490	11,697	12,872	11,877	11,024	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	-15.0	-6.2	-3.0	-20.9	3.2	19.2	1.7	-2.1	-0.1	19.0	-2.6	-5.2	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	67,713	67,552	69,887	75,617	71,720	88,118	78,263	80,255	77,872	77,153	79,697	75,452	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	-13.0	-3.1	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	-2.5	1.7	62.6	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	79.3	69.9	70.4	73.6	70.5	71.8	71.7	79.5	69.3	67.9	68.7	62.6	73.4
[関西]マンション契約率(原数値)	70.9	67.1	72.7	74.2	75.2	74.8	75.1	79.4	67.9	68.6	70.2	59.6	67.1
[全国]マンション契約率(季節調整値)	69.5	74.5	75.2	74.5	72.1	75.4	73.6	76.6	72.3	79.7	80.6	67.3	60.9
[全国]マンション契約率(原数値)	74.9	74.5	79.6	75.5	71.1	78.7	74.3	66.0	68.8	82.1	64.8	58.6	65.5
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	70.6	64.4	112.4	263.4	127.6	200.4	134.6	103.2	128.6	123.0	85.4	97.3	64.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-25.1	-18.3	-14.9	40.9	-26.5	6.4	-18.2	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	670.8	712.2	1,275.5	1,836.1	1,129.4	1,556.4	1,463.2	1,113.2	1,246.1	1,253.0	872.0	808.6	653.5
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	-13.7	2.3	-12.4	4.4	-14.0	-1.8	-10.1	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6	-2.6
[関西]建設工事(総合、10億円)	600.8	584.1	573.7	467.9	467.5	487.0	500.3	507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	1.4	-0.2	1.0	5.8	3.8	5.4	5.2	0.2	-2.4	-2.8	-4.6	-5.2	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,611.0	4,510.3	4,520.2	3,632.1	3,549.4	3,727.0	3,934.5	4,195.9	4,402.8	4,642.3	4,712.0	4,732.5	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	-1.3	-2.1	-0.7	3.4	3.3	2.5	5.2	4.1	1.6	2.6	-0.1	-2.1	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2,188.1	2,127.4	2,140.9	1,445.8	1,383.9	1,454.4	1,550.8	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	3.6	0.2	0.8	4.9	6.4	3.1	4.4	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	110.5	105.9	106.5	102.1	100.9	102.6	102.8	100.4	101.6	104.1	102.5	99.5	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	8.2	-4.2	0.6	-4.1	-1.2	1.7	0.2	-2.3	1.2	1.3	-1.5	-2.7	UN
[関西]「出荷指数(原数値、前年同月比)	1.8	-0.7	0.3	-0.6	-4.8	0.0	-0.4	0.1	1.0	-4.5	0.0	-3.4	UN
[関西]「在庫指数(原数値、前年同月比)	0.8	2.2	2.8	1.9	0.3	0.9	0.5	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.0	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	109.0	103.6	102.9	100.7	98.8	100.0	100.5	98.7	100.6	102.1	99.4	97.9	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、前月比)	7.6	-5.0	-0.7	-2.1	-1.9	1.2	0.5	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-1.3	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	116.2	117.4	116.5	116.7	116.9	117.6	119.0	118.0	118.4	118.1	118.6	117.6	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.2	1.0	-0.8	0.2	0.2	0.6	1.2	-0.8	0.3	-0.4	0.4	-0.6	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.1	98.9	98.1	99.3	97.2	98.3	97.5	96.3	97.4	98.8	97.9	96.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	4.1	-3.1	-0.8	1.2	-2.1	1.1	-0.8	-1.2	1.1	1.4	-0.9	-1.7	UN
[全国]「出荷指数(原数値、前年同月比)	-2.1	-2.9	-2.3	0.2	-3.2	1.8	-0.4	0.6	-1.5	-0.8	0.0	-2.5	UN
[全国]「在庫指数(原数値、前年同月比)	5.6	7.0	6.2	6.6	3.9	4.0	-0.8	2.1	2.1	0.2	0.0	0.0	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	102.4	97.9	97.3	97.9	96.0	96.6	96.2	95.5	96.8	98.8	96.4	94.7	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、前月比)	5.5	-4.4	-0.6	0.6	-1.9	0.6	-0.4	-0.7	1.4	2.1	-2.4	-1.8	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	111.8	113.0	113.4	113.8	112.9	114.6	113.7	114.0	113.6	111.4	111.9	112.3	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.4	1.1	0.4	0.4	-0.8	1.5	-0.8	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	0.8	0.5	0.0	-0.5	0.3	-1.5	0.7	0.7	1.1	-0.6	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	0.6	0.3	0.2	-0.9	-0.1	-1.1	0.9	0.6	1.2	-0.6	-1.1	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.6	0.1	0.0	0.7	0.7	-2.5	0.9	0.4	0.4	0.7	0.0	0.1	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.0	3.8	3.3	3.5	3.8	4.1	4.3	4.4	4.7	3.5	3.5	3.6	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.2	4.0	3.6	3.5	3.7	3.9	4.3	4.4	4.5	3.6	3.4	3.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.72	1.58	1.69	1.71	1.69	1.70	1.72	1.73	1.8	1.7	1.8	1.9	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.77	1.63	1.72	1.77	1.78	1.78	1.83	1.85	1.9	1.8	1.9	1.9	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.06	1.06	1.06	1.08	1.10	1.10	1.11	1.13	1.2	1.2	1.2	1.2	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	1.2	1.2	1.3	1.3	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-76.0	-37.6	201.1	114.9	107.8	134.0	7.8	65.0	127.5	100.8	-27.7	167.5	167.5
[関西]輸出(10億円)	1,304.8	1,242.4	1,459.2	1,382.7	1,264.3	1,383.4	1,374.6	1,299.4	1,386.8	1,398.2	1,237.0	1,338.7	1,338.7
[関西]輸出(前年同月比)	20.0	2.5	7.9	5.3	2.7	7.3	4.9	2.0	2.8	-1.9	-6.5	-10.8	-10.8
[関西]輸入(10億円)	1,380.8	1,280.0	1,258.1	1,267.8	1,156.6	1,249.4	1,366.8	1,234.4	1,259.4	1,297.3	1,264.7	1,171.1	1,171.1
[関西]輸入(前年同月比)	-10.9	10.2	-14.1	-4.2	-8.1	-4.8	-0.5	0.4	-11.0	-8.8	-6.0	-19.3	-19.3

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for Feb/Mar

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1-Feb 中国製造業 PMI (1月)	2-Feb	3-Feb 消費動向調査(1月)	4-Feb	5-Feb
8-Feb 毎月勤労統計 (12月:速報値) 景気ウォッチャー調査 (1月) 中国輸出入 (1月:速報値)	9-Feb 近畿鉱工業生産指数 (12月速報)	10-Feb 近畿貿易統計 (11月:確報) 近畿貿易統計 (12月:確速)	11-Feb	12-Feb 中国工業生産(1月) 中国固定資産投資 (1月) 中国消費小売総額 (1月)
15-Feb 実質国内総生産 (10-12月期:1次速報) 商業動態調査 (12月:確報値) 全国鉱工業生産指数 (12月:確報値) 公共工事前払保証額 統計(1月)	16-Feb マンション契約率 (1月)	17-Feb 建設総合統計(12月)	18-Feb 全国貿易統計 (1月:速報)	19-Feb
22-Feb	23-Feb 毎月勤労統計 (12月:確報値)	24-Feb 近畿鉱工業生産指数 (12月:確報)	25-Feb	26-Feb 全国貿易統計 (1月:確速) 中国不動産市場 (1月)
29-Feb 全国鉱工業生産指数 (1月:速報値) 新設住宅着工(1月) 商業動態調査 (1月:速報値) 近畿貿易統計 (1月:速報)	1-Mar 求人倍率(1月) 完全失業率(1月)	2-Mar	3-Mar	4-Mar 毎月勤労統計 (1月:速報値)